

モロッコ経済日誌 2016年12月

在モロッコ日本大使館経済班

I. 国内経済

1. 指標等

①IMF対モロッコ4条協議報告書¹

国際通貨基金(IMF)は、2016年の第4条協議報告書を発出し、同報告書の中で、モロッコのマクロ経済は、堅調なマクロ経済改革及び継続的な構造調整政策、有利な原油価格の動き、政府の財政管理の改善及び経済の多様化によりモロッコ経済の強靱性を高めたと評価した。

2016年の経済成長率は降雨不足の影響により、1.5%から2%を見込まれている。2017年の経済成長率は豊作及び非農業分野の成長により、4.4%、2017年以降は現在実施されている制度改革により4.5%程度に高まると予測。モロッコ経済のリスク要因としては先進国及び新興市場の経済成長、原油価格の上昇、地政学的緊張、国際金融市場の不安定が考えられる。

2016年9月までの国家財政の推移は良好で、赤字をGDP比3.5%に抑える目標に沿っている。年金制度改革及び2017年の予算法案における予想財政赤字をGDP比3%に抑えるとの政府目標は好ましい。

中期的には、課税対象の拡大及び脱税回避のため、効果的かつ公平な税制の強化が必要とされる。これらの改革の実施により、公債を減少していくことが可能となり、インフラ整備、医療、教育、社会保障への投資を可能とする。

2. 産業・農業・建設

①OCP, ナイジェリア工場新設合意²

2日、ナイジェリアにて、モロッコリン鉱石公社(OCP)とナイジェリア・ダンゴット・グループ及びFEPSAN社が肥料産業開発のためのパートナーシップに合意した。同合意により、ダンゴット・グループは2018年を目処に肥料製造工場を新設し、年間100万トンの肥料生産を目指す。総投資額は25億米ドル。FEPSAN社とはナイジェリア向けの肥料開発や国内市場に向けた肥料開発を行う見込み。

②自動車関連, 9件の新規投資案件³

23日、タンジェにて、エル・アラム産業・貿易・投資・デジタル経済大臣は、自動車用ワイヤーハーネス、自動車内装、自動車座席関連企業9社と総額4.41億DHの投資契約に調印した。同計

¹ ルマタン・エコ紙, レ・ゼコー紙, IMFプレス・リリース(12月1-5日)

² レ・ゼコー紙(12月6日)

³ ルマタン・エコ紙(11月25日)

画により、2020年までに総額22.68億DHの売上及び2,122名の新規雇用創出が見込まれている。

3. エネルギー・電気・水

①ナレバ社、風力発電計画⁴

8日、ナレバ社(モロッコ、発電)は、アフティサット(ブジュドゥール、200MW)に建設予定の風力発電計画に関し、融資調達が終了したと発表した。総投資額は総額40億DHに達する見込みで、2018年12月から操業開始予定。なお、同計画は風力発電サイトとモロッコ電力・水道公社(ONE E)の送電網を接続する送電線(250KM)の建設も含む。1,000名の新規雇用創出予定。

4. その他

①メディテル社、オレンジに変更⁵

8日、仏オレンジ社は、モロッコ・メディテル社をオレンジに変更すると発表した。

②不法滞在移民の地位正規化⁶

12日、内務省は、モハメッド6世国王の指示を受け、第2次不法滞在移民の地位正規化・統合政策を開始した。2014年に実施された第1次不法滞在移民の地位正規化政策では2,5千人の移民や難民が恩恵を受けている。2016年12月1日現在のモロッコ在住難民・庇護申請者数は6,707名で、そのうち4,597名が難民申請者。

③セーフガード措置⁷

モロッコ産業・貿易・投資・デジタル経済省対外貿易局は、2016年6月より導入のコピー用紙及びペーパーロール輸入に対するセーフガード措置において、2017年は1.8万トンを超える輸入に対し25%の従価税が課せられると発表。同従価税は2018年以降は取引数量に応じて段階的に削減予定で、2018年は1.9万トン、2019年は2.5万トン、2020年は22.5万トン以上の輸入に課せられる。

④アンチ・ダンピング関税⁸

モロッコ産業・貿易・投資・デジタル経済省は、2015年6月より調査をしていたEU及びメキシコからモロッコへのポリ塩化ビニル(PVC)輸入に関し、廉価なEU及びメキシコ製PVCがモロッコ産業に損害を与えていると認められ、アンチ・ダンピング関税が課されることが決定したと発表した。

⁴ エコノミスト、ルマタン・エコ紙等(12月9日)

⁵ レ・ゼコー紙等(12月9日)

⁶ ルマタン紙、エコノミスト紙等(12月14日―20日)

⁷ レ・ゼコー紙(12月20日)

⁸ エコノミスト紙(12月22, 23日)

期間は5年間で、EU及びメキシコ内販売価格とモロッコ向け輸出平均価格から算出したダンピング率は、EUが17.12%－48.20%で、メキシコが41.89%となった。EU製PVCのダンピング率は輸入企業別に設定されている。なお、同件はモロッコで唯一PVCの製造を行っているSNEP社の訴えを受け実現したもの。

⑤中国人観光客⁹

20日、モロッコ観光局(ONMT)の発表によると、中国人観光客が上昇傾向にあり、毎月6,000名から7,000名の中国人観光客がモロッコを訪問している(前年は800名から1,000名)。同局は2017年の中国人観光客数は10万人を超えると見込んでいる。

⑥中国鉄建の訪問¹⁰

中国鉄建の代表団は、マラケシュ・アガディール間を繋ぐ高速鉄道施工に関する技術調査のため、モロッコ国鉄(ONCF)を訪問した。同訪問は2016年5月にモハメッド6世国王が中国を訪問した際に受けた協力合意に基づき実現したもの。なお、同社が当地を訪問するのは2回目。

⑦スペイン、イチゴ収穫にモロッコ人女性雇用¹¹

雇用促進庁(ANAPEC)の発表によると、2017年のスペイン南部ウエルバ地方へイチゴ収穫のために出稼ぎするモロッコ人女性数は前年より増加傾向にあり、2,302名と発表(2016年は2,096名、2015年は2,178名)。2017年2月に出稼ぎが開始し、約3か月間ウエルバ地方へ滞在する。日収は39.48ユーロ。

⁹ レ・ゼコー紙等(12月20, 27日)

¹⁰ オジオルディ・ル・マロッコ紙(12月16)

¹¹ オジオルディ・ル・マロッコ紙(12月28日)